

中央支部だより

発行者
笠間市社協中央支部
編集
中央支部広報委員会
印刷
(有)シーエス

福祉バザー開催



晴天に恵まれた10月22日（土）「ふるさとまつりinかさま」が、今年も友部公民館広場で盛大にかつ賑やかに開催されました。



当日、早朝から「衣類」「雑貨」「食品」の部に分かれ、「9時」の販売開始に向けて品物の陳列や飾りの準備に慌ただしく動き回るスタッフ。開店前から、買いたい物や掘り出し物などの「お宝」を見つけ出そうと品定めをする客の眼差しに後押しされ、なんとか販売開始に間に合いました。



開店と同時に各売場には大勢の方が押し寄せましたが、ときばきと対応しているスタッフの姿はとても印象的でした。赤飯は「炊きたて」が届くと、お客さんが列を成し、あっという間に完売となる大盛況でした。まだ感染症の不安はぬぐえないとしても、ひとは時々は出歩くこともままならなかったコロナ禍のストレスを和らげるために、大勢のお客さんでにぎわった福祉バザーの果たした役割は大きかったと思います。



福祉バザー販売にて

東町2 青木 重子

新型コロナウイルス感染はまだ収まりませんが、全国的に大分緩和されて各地で旅行キャンペーンや催し物が行われています。

新型コロナウイルス感染には昨年同様、出展従事者も万全の対応をしながら行いました。

開店前からたくさんのお客様が、「またかなあ」「後何分かなあ」と言っていて待ってられました。始まると同時にお客様が品物を手に取り、「これいくら。あら安いわね」「色合いは」「サイズは」「また「あらお久しぶりね」とあっちこちからお声を掛け合っていて、楽しい雰囲気にながなごむ一時でした。外出が少なくなっている昨今、人と人とのつながりがいかに大切か、販売を通して感じました。子供達のアトラクションやフラダンスなどたくさんの方で賑わっていて、コロナ以前に戻ったかのような気がしました。

来年はコロナ収束することを願っています。ありがとうございます。



高齢者親善交流会

10月4日（火）地域の高齢者が一堂に会し、グラウンドゴルフや輪投げを通じて親睦を図る親善交流会が、柿橋グラウンドにおいて開催されました。事前準備などもしっかり行い、コロナ対策（検温・手指の消毒・マスク着用）などにも万全を期しました。朝はやや曇り空でしたが、徐々に晴れてスポーツをするにはとても良いコンディション。開会式が終わり、坂本様の準備体操の後、9時30分に試合を開始しました。

グラウンドゴルフの部には33名（男17名・女16名）が参加し、2コース（16ホール）に挑戦しました。途中10分程度の休憩を挟み、真剣な中にも和やかな雰囲気最後までプレーできたようです。ホールインワン達成者は5名でした。

また、輪投げの部には22名（男9名・女13名）が参加しました。各自、十分に練習を行ってから、3m・4m・5mに挑戦しました。投げる位置から得点ボードまでの間隔に戸惑う方や力加減・方向がなかなか掴めず苦勞されている方もおりましたが、高得点に歓声や拍手を送る温かい様子も見られました。

今年度の親善交流会では、とび賞を新たに設け、それぞれの賞品のグレードアップを図りました。参加者の皆様のご協力のお陰で怪我もなく、全日程を無事に終了することができました。

閉会式の後の昼食のお弁当はコロナ感染予防のため、お持ち帰りいただきました。以下、各競技ごとの成績です。

○グラウンドゴルフ

男性の部

- 優勝 藤井三千生
- 準優勝 猪狩國雄
- 第3位 須藤恒吉
- 第4位 中村誠
- 第5位 横堀義一
- B賞 桑野勝雄

女性の部

- 優勝 岡野真喜子
- 準優勝 成田和子
- 第3位 稲毛トク
- 第4位 高松ふで
- 第5位 川俣光子
- B賞 市毛茂子

○ホールインワン達成者

男性の部

- 3名
- 須藤恒吉
- 藤井三千生
- 猪狩國雄
- 高松ふで
- 成田和子

女性の部

- 2名
- 須藤恒吉
- 藤井三千生



○輪投げ

男性の部

- 優勝 井川征雄
- 準優勝 入江廣
- 第3位 篠原次郎
- 第4位 深澤博彰
- 第5位 栗股克巳
- B賞 入江洋一

女性の部

- 優勝 村上栄子
- 準優勝 井川美恵子
- 第3位 持丸すい
- 第4位 小林充恵
- 第5位 飯田弘子
- B賞 田中正子

○特別賞（米寿）

- 井川美恵子
- 高松ふで
- 篠原次郎
- 横堀義一
- 田中正子



百歳目指してがんばろう

笑って歌って楽しく

おられました。招待者の方々は清々しい顔で閉会后、家路に着きました。ご来賓、ご招待者の皆さんありがとうございました。実行委員会の皆様ご苦勞さまでした。



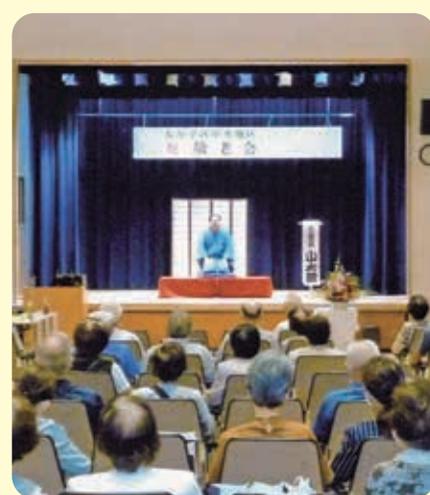
令和4年9月19日、「地域交流センターともべ」で、友部小学校区中央地区の敬老会が、3年ぶりに開催されました。
中村誠幹事
実行委員の開式のことばに

続き、赤尾杉友一実行委員長の主催者挨拶がありました。山口伸樹市長、常井洋治県議、村上典男県議、坂本奈央子市議の4人が来賓として来られました。

中央支部の今年の敬老会の該当者は529名で、60名が出席されました。米寿を迎えられた方は16名でした。

アトラクションは、最初に「万葉亭小太郎」さんの落語でした。演目は「長命」です。美人薄命といいますが、お嬢さんがすぐ亡くなってしまう家のお嬢さんのことを、ご隠居さんが独自の解釈で説明するお話でした。

続いて、「歌声喫茶inトモア」で活躍の逢坂せいしさんと一緒に「里の秋」「村祭り」「青い山脈」「高原列車は行く」「ああ上野駅」「北国の春」「いつでも夢を」「上を向いて歩こう」を参加者全員で歌いました。このとき、苦しい時代のことを思い出され、思わず涙ぐむ方も



あとがき

中央支部だより123号をお読みいただきありがとうございます。今年もコロナ禍でありましたが、秋の各種イベントが無事開催され、皆様方には喜んで参加することができたようです。各種の活動がいよいよ再会されるかと期待に胸がふくらみます。寒い季節になりますが、お身体には十分お気を付けてお過ごしください。
(藤枝)